

第3回「関西日中クラブ」勉強会報告

見本重宏

6月7日、北京料理除園にて第3回勉強会が、77名のご出席を賜り盛大に開催されました。

関西日中クラブは、(社)日中協会白西理事長の呼び掛けに応じ「日中両国の友好促進と中国情勢の勉強を官民で実施し、政治、経済、文化、教育の各分野での交流の架け橋として、両国民の相互理解と信頼関係の進化・発展を目指す」ことを目的に、2012年1月に発足して、世話人(20名)の協議の下に、過去2回は神戸で、この度当会及び日中未来研究会(鄭劍豪会長)の後援のもと初めて大阪で開催されました。今回の特徴は、中国総領事館張梅政治文化担当室長のご出席を含め、日中協会、日中未来研究会、神戸日華実業協会、大阪華僑総会、近畿情報システム産業協会等各種団体の賛同と協力を得た事にあると思います。ご出席の各位に対し深くお礼申し上げます。

現在の日中関係は、尖閣諸島を巡り政治的に非常に緊迫した状況が続き、日中首脳会談が出来ない状況下にあります。その様な中で、偶然にも米中首脳会談前日に「毎日新聞」専門編集委員金子秀敏氏の「軍事問題から見た米中関係と尖閣諸島問題」をテーマにした講演を聞き、米中軍事関係の下で日中関係・尖閣諸島問題を分析する視点の重要性を確認できました。私たちが友好活動を進める上で、各事象を多面的な視点で把握して共通認識を深めていく事、更に協力したイベント等を通じて、各団体との絆を深め協調した行動を取る事が、「民を以って官を促し」日中の相互理解と繁栄に繋がると当会は考えています。

講演終了後大阪華僑総会曾会長の音頭で「ウーロン茶」で乾杯し、食事を楽しみながら名刺交換や懇談が開始されました。その中でも一際目立ったのが、OSK日本歌劇団4名の美女が参加されており、知らない事が多く非常に勉強になったとの事。懇談が進む中、「関東大震災下で虐殺された中国人労働者追悼集会」、9月史跡難波宮跡で開催される「中秋明月際大阪2013」PR等があり、各テーブルで非常に盛り上がりました。

最後に、日中未来研究会鄭劍豪会長より日中友好に向けた挨拶と共に今後の結束を深める意味を込めて「一本締め」で勉強会と懇親会が終了した事を報告いたします。



